

【開催報告】「SOMPO福祉財団賞」受賞記念講演会・シンポジウム

公益財団法人SOMPO福祉財団は、「SOMPO福祉財団賞※」の受賞記念講演会・シンポジウムを開催しました。

※「SOMPO福祉財団賞」は、優れた社会福祉学術文献を表彰する制度で、社会福祉の学問的探求を志向する多くの学者・研究者の研究意欲の促進と、わが国の社会福祉の発展に寄与することを目的として1999年に創設しました。

記

1. 開催日時 : 2025年7月19日(土) 13時～17時
2. 場 所 : グランドアーク半蔵門 (東京都千代田区)
3. 参加人数 : 約70人 (大学関係者、学生、企業・行政の担当者、社会福祉団体関係者ほか)
4. 主 催 : 公益財団法人SOMPO福祉財団
後 援 : 厚生労働省、一般社団法人日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟、日本社会福祉系学会連合、
5. 内 容
 <第Ⅰ部> 受賞記念講演会
 受 賞 者 : 風間 朋子 氏 [関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科准教授]
 受 賞 著 書 : 『障害と所得保障－基準の管理から分配の議論へ』
 <第Ⅱ部> シンポジウム
 テ ー マ : 障害と所得保障～分配のあり方と基準設定をめぐる諸論点～
 パ ネ リ ス ト : 荒川 豊 氏 [社会医療法人城西医療財団豊科病院ソーシャルワーカー]
 (50音順) 安藤 道人 氏 [立教大学経済学部教授]
 永野 仁美 氏 [上智大学法学部教授]
 コーディネーター : 大島 巖 氏 [東北福祉大学副学長・教授]
 後藤 玲子 氏 [帝京大学教授・一橋大学名誉教授]
6. 参加者の感想 (一部)
 - ・ 障害年金の制度が複雑であることを改めて感じた
 - ・ 現場の目線での話を聞くことができとても勉強になった
 - ・ 社会保険制度の変遷がよく理解できた
 - ・ 障害者の所得保障に関する論点を伺い、障害認定の現状や今後の課題をもっと学びたいと思った
 - ・ 障害年金受給の正当な分配は丁寧な議論を行っていくことが必要だと思った
 - ・ 経済、法律などの視点から考えることは、まったく異なる視点ではない事が分かった
 - ・ 社会保険制度の歴史的観点からの分析が非常に分かりやすかった
 - ・ それぞれの専門性を生かした講演でよく勉強になった
 - ・ 障害認定の実務、障害所得保障の財政学における観点、認定と選別、認定基準の合理性などニーズを踏まえて日本において何を実現していくべきか実感できた
 - ・ 経済学者を動かすのも一般市民であるということが分かった
 - ・ 2025年の年金制度改革で残された障害者年金の見直しへのアプローチとして参考になった
 - ・ 他の国の社会モデルに興味をもった
 - ・ 障害者認定の正確性を追求すると等級を補佐する制度が必要だと感じた

以上